

着任のご挨拶

この度、7月1日より西伯病院院長に就任致しました木村 修でございます。昭和52年に鳥取大学医学部を卒業し、鳥取大学第一外科で19年間消化器癌の診療と研究を行い、平成8年から国立病院機構米子医療センター外科で15年間診療してまいりました。専門分野は消化器癌、とくに大腸癌であり、その他の難治性大腸疾患、胃癌、肛門疾患などの治療にも多く携わってまいりました。

西伯病院は、南部町ならびにその周辺の方々の健康をお守りするのが使命と考えております。創立60周年を迎えるすばらしい新病院を担当させていただくことを心から誇りに感じておりますとともに、その責任の重さを痛感致しております。

日本人の3分の1が癌で亡くなり、2人に1人が癌にかかる現在、1人でも多くの癌を早期に発見し治療することで、安心・安全な医療を提供してまいりたいと考えております。この場をお借り致しまして、皆様のご協力とご理解をいただき、1人でも多くの方に検診を受けていただきたいと切にお願い申し上げます。

また、少子高齢化が進む中、お子様の健やかな発育を支えるとともに、老年期の方々の在宅医療を支えるため、通所リハビリテーション、認知症高齢者へのデイケアなどもこれまでどおり充実してまいりたいと考えております。

当院の基本理念であります「地域住民への安心の提供」が実現できる病院づくりを目指し、職員一同、取り組んでまいりますので、皆様の益々のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。



院長 きむら おさむ
木村 修

今年のテーマは
飲み込みやすい食べ物

看護フェアを開催しました

5月14日、看護フェアを開催しました。西伯病院では毎年5月の土曜日に開催しており、今年で第8回目となります。今年のテーマは『飲み込みやすい食べ物』。当日はたくさんの方で賑わいました。

骨密度測定に入院食を試食♪



病院職員Aさんの体験記

30代半ばとなった私。せっかくの機会とばかりに参加しました。まずは身長・体重・体脂肪・肥満度・血圧の測定です。その結果に基づいて、医師による健康相談を受けました。その後、腕の骨密度測定のコーナーに移動すると、普段測定できる機会が少ない為、多くのお客さんが待っておられました。測定自体は数分で終わりです。同年代の平均結果との比較表をもらい「まだまだ大丈夫！」との言葉に、ひと安心。

『飲み込みやすい食べ物』のコーナーでは、実際の入院食を試食しました。特にほうれん草のおひたしを細かく砕いたものに、とろみ液をかけたものと、トマトのゼリーは、しっかりとした味で思いのほか美味しく、おかわりを頂きました。来年は皆さんも体験してみたいですか。健康について考えるきっかけになりますよ。



血圧測定



骨密度測定



入院食の試食